

香川県教育委員会事務局  
保 健 体 育 課 長 殿

学 校 名 香 川 東 部 養 護 学 校  
学 校 長 名 武 田 光 弘

## 令和 2 年度 オリンピック・パラリンピック教育実施報告書

### I 事業実施前の課題

- ・ パラスポーツについて、興味関心にばらつきがある。
- ・ ボッチャの名前は知っているが、競技として捉えられていない生徒が多くいた。

### II 具体的な取組み

#### 1 活動名 (事前学習) : パラスポーツについて調べよう

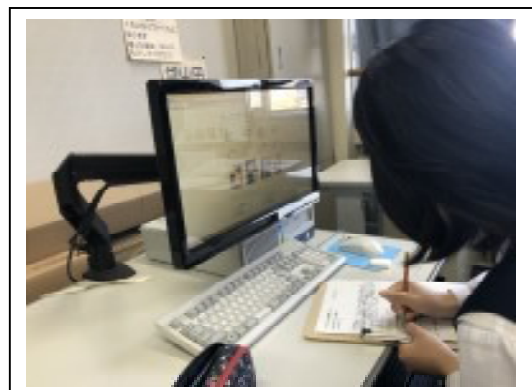
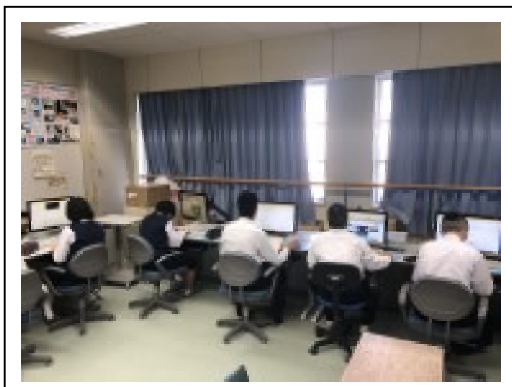
(1) 日 時 : 令和 2 年 1 0 月 5 日 (月) 1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 4 5

(2) 対象者 : 高等部 第 3 学年 1 0 名

(3) 活動概要及び工夫点 (生活単元学習の時間で実施)

- ・ インターネットを使ってボッチャについて調べ、ワークシートにまとめた。
- ・ ワークシートにまとめる項目を 8 項目挙げておき、どういう点を検索すべきか見通しがもちやすいようにした。

(4) 活動の様子



【パソコン室でボッチャの調べ学習】

#### 2 活動名 (中心学習) : ボッチャ

(1) 日 時 : 令和 2 年 1 0 月 2 7 日 (火) ~ 1 2 月 2 2 日 (火)

(2) 対象者 : 高等部 第 1 ~ 3 学年 A 課程 3 9 名

(3) 活動概要及び工夫点 (保健体育の時間で実施)

- ・ 保健体育の実技の年間計画に取り入れ、活動回数を確保できるようにした。

1 5 時間計画 (4 5 分)

ボッチャに慣れよう（3時間）

用具やルールを知ろう（1時間）

簡単なゲームをしよう（3時間）

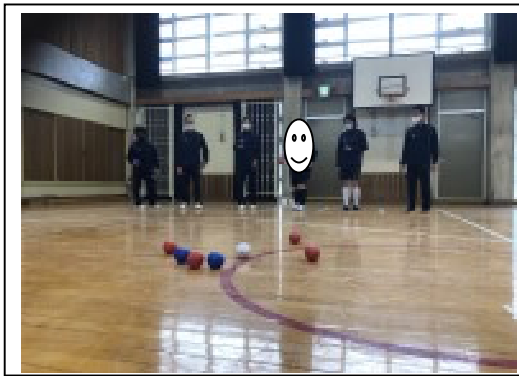
ゲームをしよう（5時間）

トーナメント戦をしよう（3時間）

- ・用具の扱いに慣れるところから、戦術を考えたゲーム運びができるようになるまで段階的に取り組めた。技術的なことに個別に指導する機会を増やした。ゲームを中断しながら、次の投球をどうするか、指導者がアイデアを提示したり、一緒に考える時間を作ったりした。ルールの理解を進めるために生徒同士交代で審判をするようにした。

題材のまとめとしてトーナメント戦を行った。

#### (4) 活動の様子



【ボッチャのゲームの様子】

### 3 活動名（事後学習）：ボッチャを紹介しよう

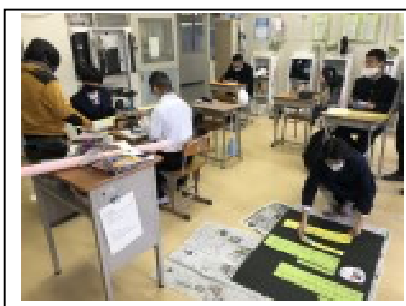
(1) 日 時：令和2年12月10日（木）13：10～14：45

(2) 対象者：第3学年 10名

(3) 活動概要及び工夫点（生活単元学習の時間で実施）

- ・事前学習で調べた内容やボッチャを実際に経験して興味をもったことなどをポスターにまとめた。

#### (4) 活動の様子



【ポスター製作の様子・完成したポスター】

### 3 活動名（事後学習）：クラスマッチをしよう

(1) 日 時： 令和2年 12月 22日（火） 9：10～10：30

(2) 対象者： 第3学年 19名

(3) 活動概要及び工夫点（生活単元学習の時間で実施）

- ・大会の運営や審判を生徒中心に行う。
- ・A課程、B課程の生徒どちらも公平に参加できるルールを生徒たちが考える。

(4) 活動の様子



【ポスター製作の様子・完成したポスター】

### Ⅲ 成果と課題

- パラリンピックの競技にはクラス分けがあることを知り、パラスポーツを行う上で公平とはどういうことかを考えるきっかけになった。
  - 実技の年間計画に組み込むことで活動時間を確保できた。そのため、個に応じた段階的な指導を行えた。技術的にも向上し、投球の戦術を工夫する生徒が増え、よりゲームを楽しめるようになった。
  - 体を動かすことが苦手で普段は体育の実技に消極的な生徒も活躍できる場面が多くあり、お互いに認め合う場面や仲間から称賛される場面が多くなり、積極的に活動に参加する生徒が増えた。
  - 審判をし、ゲームをコントロールすることができるようになるにつれ、ルールの理解が進み、主体的に活動に取り組む姿勢が見られた。
  - 事前、事後学習を行うことでよりボッチャへの理解が深まった。
  - クラスマッチの企画、運営を行うことで活動に対して自主性が高まった。またB課程の生徒と一緒にプレーするにはどうしたらいいかを相談し、独自のルールを考えることができた。
- △ 全体で調べ学習やまとめの時間を取ることに難しさがあり学年ごとの対応となった。体育が縦割りで行われているのでその事前学習、事後学習の時間も体育で確保すればよかった。
- △ 体育館で実施したが、コート内で密になる場面があった。感染予防対策を工夫して実施する必要があると感じた。

香川県教育委員会事務局  
保健体育課長 殿

学 校 名 香 川 東 部 養 護 学 校  
学 校 長 名 武 田 光 弘

令和 2 年度 オリンピック・パラリンピック教育実施報告書

I 事業実施前の課題

- ・ パラスポーツへの興味関心が低い。
- ・ 自己肯定感の低さもあり、様々な活動に対して主体的に取り組む力の弱さが見られる。
- ・ 将来の生活に見通しがもちにくく不安を感じている。

II 具体的な取組み

1 活動名 (事前学習) : パラカヌーについて知ろう

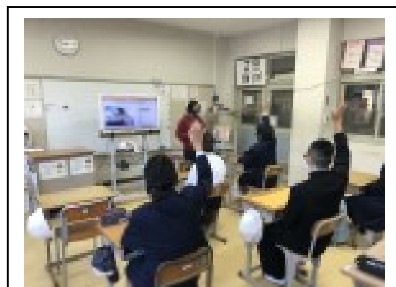
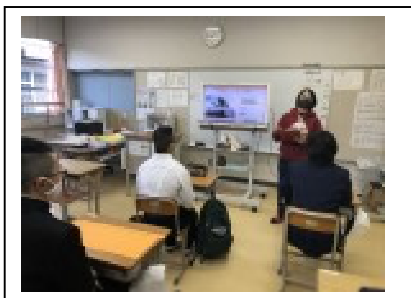
(1) 日 時 : 令和 2 年 1 1 月 2 4 日 (火) 8 : 5 5 ~ 9 : 4 0

(2) 対象者 : 高等部 第 1 ~ 3 学年 A 課程 3 9 名

(3) 活動概要及び工夫点 (生活単元学習の時間で実施)

- ・ 生活単元学習の時間で実施。各学級で取り組んだ。
- ・ インターネットや新聞記事等を使った学習を行った。
- ・ 講演会参加への動機づけを高めるために当日の講演前に行った。
- ・ 聴講のポイントを示したメモを配布し、特に注意して聞く点の確認を行った。

(4) 活動の様子



【講演の事前学習の様子】

2 活動名 (中心学習) : オリンピック・パラリンピック教育講演会

(1) 日 時 : 令和 2 年 1 1 月 2 4 日 (火) 1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 3 0

(2) 対象者 : 高等部 第 1 ~ 3 学年 A 課程 3 9 名

(3) 活動概要及び工夫点 (生活単元学習の時間で実施)

- ・ 県内在住のパラアスリートを招聘し、「東京パラリンピックへの挑戦～挑戦するとき大切にしていること～」の演題で講演会を行った。

#### (4) 活動の様子



#### 【今井航一氏の講演】

### 3 活動名 (事後学習) : お礼状を書こう

(1) 日 時 : 令和2年11月24日 (火) 11:40~12:10

(2) 対象者 : 高等部 第1~3学年 A課程 39名

(3) 活動概要及び工夫点 (生活単元学習の時間で実施)

・自分たちが書いたメモを見ながら、講演の感想やお礼の言葉を手紙に書いた。

#### (4) 活動の様子



#### 【感動をお礼状に書き綴る】

### Ⅲ 成果と課題

- パラリンピックそのものへの興味関心が高まった。
- クラス分けについて知ることができた。そのことでパラスポーツにおける公平性について考えるきっかけとなった。
- 自己のもつ将来への不安や悩みを整理し、前向きに物事を捉えられた。
- その後の学校生活でも今井氏の言葉を口にして、苦しいことにチャレンジしようとする姿勢や、最後まで諦めずに取り組む姿勢が見られるようになった。
- 香川県はカヌーが盛んな地域で施設の恵まれているが、身体に障害のある人たちにとっては使いやすいとは言えないということを知った。

#### 生徒のお礼状より (抜粋)

- 私も部活動で毎日練習していますが苦手で諦めることもしばしばです。昨日の自分より少しだけよくなることを目指して取り組みたいです。
- 私が一番印象に残ったのは幸せの種をまくという言葉です。自分のために幸せの種をまくのは分かりませんがみんなが幸せになるために種をまくということに感心しました。周りを明るくできるように言葉にしていきたいと思いました。
- 生きていると思ってもよらないことが突然起きてその都度私は挫折をします。でも、どんな時もどんな場に立っても自分を信じて人生を諦めず進む今井選手の話聞いてかっこいいと

思いました。自分自身や周りの人たちにかかる言葉や状況が明るくなるような行動を大事にして幸せな人生を作っていこうと強く思いました。

- 私は初めてすることは不安ですぐに逃げ出してしまうのですが今井さんみたいに昨日の自分よりも少しだけよくなれるようにチャレンジしたいと思いました。まだまだ自分に負けてしまいそうですがこれからは頑張りたいです。

- △ 事前事後を含む日程調整が難しかった。